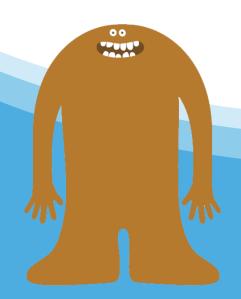
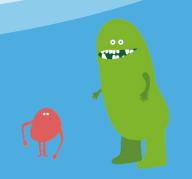
ナブテスコ株式会社 2018年12月期第3四半期 決算資料 (IFRS)



2018年10月31日



第3四半期連結業績概況 (IFRSベース)

(単位:百万円)	2017/12 第3四半期実績 (A)	2018/12 第3四半期実績 (B)	增減額 (B)-(A)
売上高	202,809	210,843	8,034
コア営業利益	21,682	17,277	-4,405
営業利益	21,615	12,605	-9,010
(営業利益率)	10.7%	6.0%	-4.7pt
金融損益	339	-225	-564
持分法による投資 利益	4,156	7,854	3,698
税引前当期利益	26,110	20,234	-5,876
当期利益*	18,809	13,253	-5,556
基本的1株当たり 当期利益	152.44	106.92	-45.52

2018/12 通期修正計画
(2018年7月31日 時点)
307,000
29,800
25,000
8.1%
-330
8,930
33,600
23,600
190.41

2018/12 通期修正計画 (2018年10月31日 時点)
293,900
24,700
20,000
6.8%
-244
8,744
28,500
19,800
159.74

Notes

為替レート 2017年12月期 第3四半期実績: US\$1=¥111.81 RMB1=¥16.44 EUR1=¥125.24 CHF1=¥113.94 2018年12月期 第3四半期実績: US\$1=¥109.63 RMB1=¥16.78 EUR1=¥130.62 CHF1=¥112.98

為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)

2017年12月期 第3四半期実績:米国ドル 52百万円、人民元 182百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

2018年12月期 第3四半期実績:米国ドル 軽微、人民元 146百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

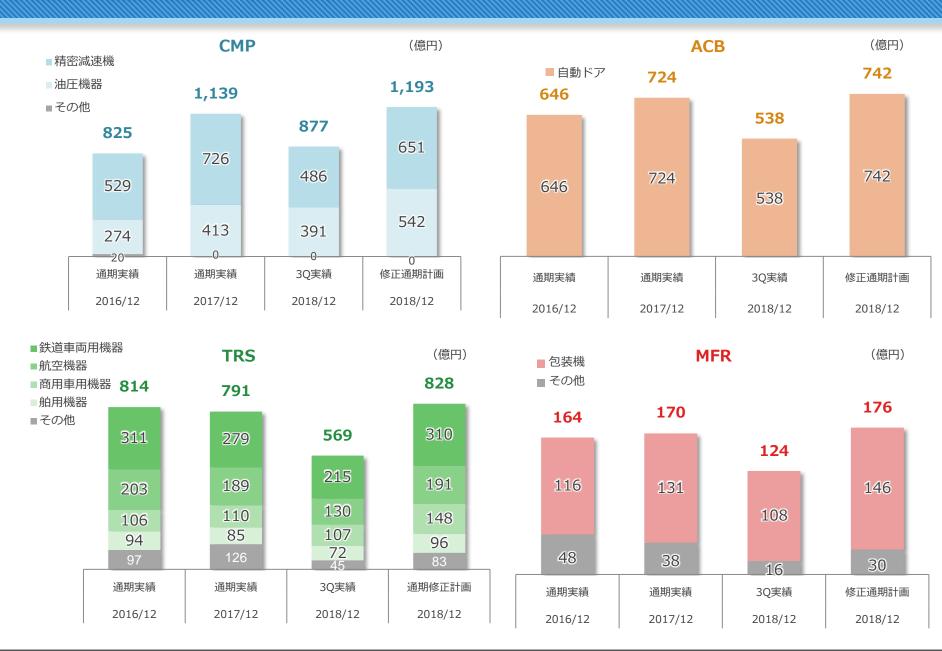
^{*}親会社の所有者に帰属する当期利益

第3四半期セグメント別業績概況 (IFRS)

(単位:百万円)

セグメント	項目	2017/12 第3四半期実績 (A)	2018/12 第3四半期実績 (B)	増減額 (B)-(A)	2018/12 通期修正計画 (2018年7月31日 ^{時点})	2018/12 通期修正計画 (2018年10月31日 ^{時点})
コンポーネント	売上高	81,449	87,746	6,297	128,800	119,300
ソリューション	営業利益	15,011	15,101	90	22,800	19,900
(CMP)	(営業利益率)	(18.4%)	(17.2%)	(-1.2pt)	(17.7%)	(16.7%)
トランスポート	売上高	57,728	56,926	-802	84,400	82,800
ソリューション	営業利益	6,924	-1,374	-8,298	2,800	1,500
(TRS)	(営業利益率)	(12.0%)	(-2.4%)	(-14.4pt)	(3.3%)	(1.8%)
アクセシビリティ	売上高	52,048	53,803	1,755	75,800	74,200
ソリューション	営業利益	3,183	2,734	-449	5,200	4,600
(ACB)	(営業利益率)	(6.1%)	(5.1%)	(-1.0pt)	(6.9%)	(6.2%)
マニュファクチャ	売上高	11,584	12,369	785	18,000	17,600
ソリューション	営業利益	1,192	1,776	584	2,500	2,300
(MFR)	(営業利益率)	(10.3%)	(14.4%)	(4.1pt)	(13.9%)	(13.1%)
全社また	は消去	-4,695	-5,632	-937	-8,300	-8,300
	売上高	202,809	210,843	8,034	307,000	293,900
連結合計	営業利益	21,615	12,605	-90,204	25,000	20,000
	(営業利益率)	(10.7%)	(6.0%)	(-4.7pt)	(8.1%)	(6.8%)

事業別 売上高推移(IFRS)



BS概況

(単位:百万円)		2017/12期末 2017年12月31日現在	2018/12期第3四半期 2018年9月30日末現在	差異
資	産	301,557	310,230	8,673
(現 預 金 等)	44,121	37,156	-6,965
(営業債権)	76,874	69,448	-7,426
(棚卸資産)	40,298	49,117	8,819
(有形固定資産)	70,700	79,260	8,560
負	債	124,556	127,216	2,660
(社債及び借入金)	27,720	30,692	2,972
資	本	177,002	183,013	6,011
(非 支 配 持 分)	9,465	10,140	675
親会社所有者帰属持分	*	167,537	172,873	5,336
※ 親会社所有者帰属持分比率:		55.6%	55.7%	0.1pt

Nabtesco

設備投資額・研究開発費・減価償却費

■将来成長のために、精密減速機を中心に設備投資を実施。

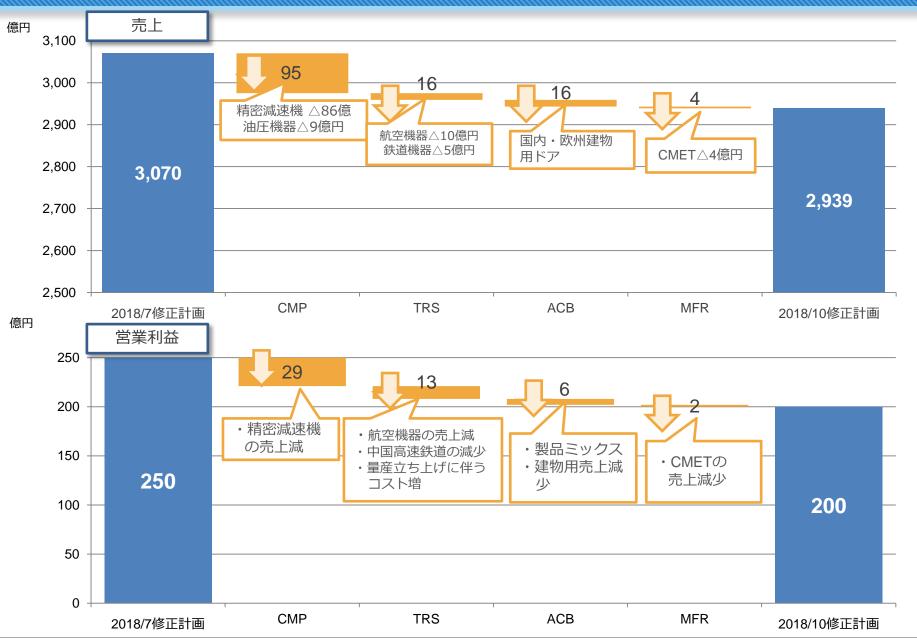
精密減速機:日本工場及び中国工場における生産能力増強

航空機器: 新プログラムに向けた増産体制構築

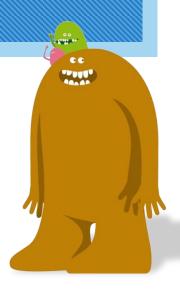
(単位:億円)	2017/12 3Q実績 (A)	2018/12 3Q実績 (B)	2018/12 通期計画 (C)	対前年同 期比 (B/A)	進捗率 (B/C)
設備投資額	111	163	304	146%	54%
研究開発費	61	78	102	129%	77%
減価償却費	63	75	112	119%	67%

155 87		追	重集	钥	灵	副	湏	
87					_			
				8	7			

2018/7修正計画からの2018/10変更計画について



Appendix



CMPセグメント 精密減速機 新工場用地取得に関して

10月17日 用地取得に関する合意書を締結

ナブテスコ株式会社(本社:東京都千代田区、社長:寺本 克弘)は、浜松市第三都田地区に工場用地を取得することについて、10月1日、土地売買の意向に関する表明書を浜松市と締結しましたので、お知らせいたします。

なお、今後、土地売買に関する仮契約を2019年9月頃までに締結し、浜松市議会の決議を経て本契約に移行する予定です。また、用地取得手続は、2020年3月を目途に完了する予定です。

当社グループは、中大型産業用ロボットの関節用途向けの精密減速機市場において、約60%の世界シェアを有しています。現在は、精密減速機を国内(三重県津市)と中国(江蘇省常州市)の2拠点で生産しておりますが、省人化・自動化ニーズの高まりにより当社の高精度、高剛性の精密減速機に対する強い需要が続いており、高い工場稼働となっております。当社の精密減速機に対する高い市場成長が続くことが予測されるため、2020年までに津と常州の両生産拠点での定時生産能力を年産120万台まで拡大すべく、能力増強に取り組んでいます。

今後、長期的にもロボット市場規模の拡大が見込まれており※1、当社の精密減速機に対する強い需要が継続すると予測されます。この需要に対応すべく新たに国内で工場用地を購入し、工場新設により更なる能力増強と、BCP対応を可能とすることで、お客様に対する精密減速機の安定供給体制の構築および市場シェア確保を目指してまいります。

東京、大阪の中間に位置する浜松市は交通アクセスに優れており、また、取得予定の第三都田地区工場用地は、強固な地盤を備えた内陸立地となります。近隣に豊富な企業集積があり、サプライチェーンの構築に有利な立地を生かし、お客さまへの更なるサービス向上に努めてまいります。

なお、新工場での建屋建設や設備導入については、今後の需要動向に応じて進める予定です。

【取得予定の土地の概要】

1. 場所 : 静岡県浜松市北区都田町 第三都田工場用地(第1区画及び第11区画)

2. 面積 : 181,700㎡ (津工場の1.5倍)

以上

※1 2025年の世界ロボット市場規模は17年比3.1倍となる3兆3140億円への増加が予測されている。(富士経済社「2018 ワールドワイドロボット関連市場の現状と将来展望 No.1 FAロボット市場編」より引用)

TRSセグメント 航空機器 岐阜工場竣工

航空機器事業の新工場棟完成 アクチュエーター棟(延床面積8,263㎡)

「精密部品棟」、「表面処理棟」に続き、この度「アクチュエーター棟」が完成し、10月23日に竣工式を執り行いました。

当社は岐阜工場において機体の飛行制御システム『フライト・コントロール・アクチュエーション・システム』を中心に航空機向けの各種装備品を生産しています。完成した「アクチュエーター棟」は、先に完成した「精密部品棟」、「表面処理棟」を含め、フライト・コントロール・アクチュエーターの材料調達から完成までの一貫生産体制を構築し、高自動化生産ラインとIoT活用により品質・生産性の向上を図ることで、「ボーイング737MAX/777X」並びに「MRJ(Mitsubishi Regional Jet)」等の民間機を中心とした需要拡大に対応します。加えて、先進環境技術の採用によるCO2排出量の大幅削減も実現いたします。当社は、お客さま、お取引先とともに、地域の皆さまのご支援を頂きながら、航空産業の成長に寄与できるよう努力してまいりました。今後も、国内外を飛び交う航空機のフライト・コントロール・アクチュエーション・システムのリーディングカンパニーの一社として積極的にイノベーションに取り組んでまいります。



岐阜工場全景



アクチュエーター棟(延床面積8,263㎡)

うごかす、とめる。 Nabtesco

